

由良町   
 こんにちは!  
**議会**です

2025 **2**  
 No.145



**晴れの門出、希望の未来へ!**

**祝 20歳**

発行/由良町議会 発行責任者/玉置 一郎  
 編集/議会広報編集委員会  
 〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1  
 TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226  
 E-mail:gikai@town.yura.lg.jp



**ハママヤパンコーポー、開店!**



由良町中央公民館の近くに2024年12月4日、オープンしました。  
 朝8:00から食パン・菓子パン類が並び、お昼前には続々と色々なパンが焼き上がります。  
 人気No.1はカリカリのクッキー生地がのったメロンパン!!  
 店主のおススメはバターロールなどのハード系です。  
 ハママヤのパンを食べてもらって、楽しく、  
 笑顔になっていただけたらと思います!!

 **ハママヤパンコーポー**  
 hata wo raku ni suru.

住 所: 由良町里2-3  
 営業時間: 8:00~18:00 (売り切れ次第営業終了)  
 定休日: 日曜日・月曜日



議会広報編集委員会

- 委員長 山本 大
- 副委員長 岩崎 清和
- 委員 三上 幸夫
- 委員 山口 太志
- 委員 川出 純
- 委員 岩崎 武司



新年の幕開け、今号の表紙は由良町の成人式です。若さで、元気一杯の彼らに幸多き人生を歩んで欲しいと思います。

議会広報編集委員会では、写真を重視し、担当者はアングルや表情など良い写真を撮るために悪戦苦闘しています。議会広報の腕章をつけて、町内を走り回っていますので、担当者を見かけたら一声かけていただき、よろしければカメラに収まり議会広報に登場しませんか。

(純)

編集後記

# 令和6年12月定例会

12月11日～19日

令和6年12月定例会は、12月11日から19日までの9日間の日程で開催されました。報告1件、条例一部改正3件、規約の変更1件、人事2件、補正予算3件の計10件の議案が提出され、すべて原案のとおり可決、同意しました。一般質問は6名の議員が登壇しました。

## 由良町印鑑条例の一部を改正する条例

**可決**

**問** 【川出議員】 全国のコンビニで利用できるのか。

**答** 【住民福祉課長】 マイナンバーカードを持っていると、住民票と印鑑証明が全国のコンビニの端末から取得できます。(3月3日予定)

## 和歌山地方税回収機構事務の変更

**可決**

**問** 【川出議員】 和歌山地方税回収機構へ移管件数は。

**答** 【税務課長】 移管は例年4件から5件程度です。

## 令和6年度 由良町一般会計補正予算

**可決**

**問** 【川出議員】 土木費の減額は。

**答** 【参事・地域整備課長】 財源の振り替えで、一般財源から地方債へ振替、後年度交付税措置のある有利な起債に振り替えました。

## 人事

**同意**



坂口 依子 氏(中424番地の1)を新たに任命することに同意しました。(任期は、令和6年12月28日から4年間です)

由良町教育委員会委員の任命について

**適任**

人権擁護委員候補者の推薦について

寒川 明子 氏(里923番地の4)を新たに推薦することに適任と決定しました。(任期は、令和7年7月1日から3年間です)

あけましておめでとう  
あけましておめでとうございます

新年のごあいさつ

議長 玉置一郎

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

日頃より議会運営、議会活動に対し、あたたかい御支援、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年正月、能登半島地震が発生し、翌日の2日には羽田空港において飛行機事故が起こるといふ令和6

年の幕開けでした。犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、まだまだ復興半ばで大変な状況下である被災された皆様によりお見舞い申し上げます。

さて今年の干支は、乙巳(き乙(きのと)は、「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ち、巳(みへび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。

今年、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展し

ていく年」になる年回りと言われているそうです。何かが起こってきた年まわりと言えるのかもしれない。

由良町においても、昨年5月から2期目の山名町政が始まり、そして今年1月、町制70周年を迎えました。町議会といたしましても、町民の皆様のお声を真摯に拝聴しながら、町政の更なる発展のため議員一同全力で取り組んで参ります。

皆様方にとって、この1年が幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

岩崎 清和 議員  
山口 太志 議員  
岩崎 武司 議員  
副議長 三上 幸夫  
議長 玉置 一郎



岩崎 清和 議員



山口 太志 議員



岩崎 武司 議員



副議長 三上 幸夫



議長 玉置 一郎



川出 純 議員



森 三枝子 議員



野田 悟 議員



山本 大 議員



三好 章五 議員

新年挨拶

議案審議

一般質問

委員会活動

新年挨拶

議案審議

一般質問

委員会活動

# 一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は、12月18日に行われ、6名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。



のだ さとし  
**野田 悟**  
議員

## ふるさと納税について

### 議員

由良町ええまちづくり調査研究特別委員会へ、県内のふるさと納税支援事業者に出席していただき、事業について説明を受けました。

同社が支援している県内自治体が、納税額が非常に増加する実績をあげています。

昨年9月にも同様な質問をしています  
が、同社への支援依頼は。

### 町長

今年度は、新たにふるさと納税ポータルサイトの掲載数を増やしたり、返礼品掲載ページの改善、SNSを活用した情報発信、お礼状の更新や寄付金の使い道を発信することにも注力するなど、担当

職員は日々創意工夫を凝らして努力しています。  
その中で、中間管理事業者の選定も、もちろん必要なことであると認識しています。



ふるさと納税で日本を元気に！  
(総務省の「ふるさと納税ポータルサイト」より抜粋)

### 議員

昨年の新聞記事にありましたが、同社が支援を行っている町では、ふるさと納税額が前年比2.8倍（2億3953万円）になり、その町では返礼品を開発するための準備室を設置したとありました。

## 1 人口減少について

### 議員

人口減少するのに歯止めの対策は。

### 町長

安定した雇用の確保、子育て等生活環境の整備、地域の活性化を図り、具体的な事業等を実施し、必要に応じて適切な見直しを行っていきます。

### 議員

町の将来像をどのように考えていますか。

### 町長

私が考える由良町の将来像について、公約に掲げている「若人が集う」「子育て世代にやさしい」「高齢者にやさしい」この実りある3つの町づくりによる「希



やまぐち ふとし  
**山口 太志**  
議員

## 2 防災について

### 議員

大引区は独自に減災復興政策研究員を招き、災害後の共同生活支援などを学びました。  
由良町ではどのような支援を行うのか。

### 総務政策課長

災害時の食料について町として1日分（3000人分）。県にも1日分の支援をお願いし、個人でも1日分の備蓄をお願いしています。

### 議員

空き家を利用した「お試し住宅」の施設は。

### 町長

今現在は、考えていない状態です。  
地域おこし協力隊員が、来年度卒業しゲストハウスの施設をつくると聞いていますので、活用しながら行っていきたく思います。

望のある由良町」です。  
移住定住施策として、マイホーム取得補助、民間賃貸住宅家賃補助、空き家改修支援事業補助などを実施しています。

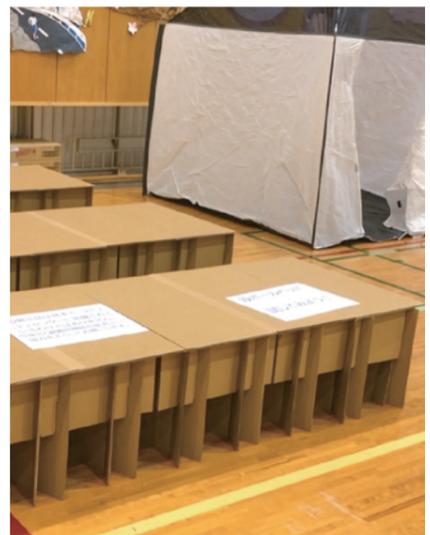


・国道筋に由良町第2の道の駅設置について

### 町長

今後、各自治体がふるさと納税額の維持、増加を図るために、出品者の囲い込み等が進むことが予想されることから、早期検討の上、委託先の変更としては。  
県内の自治体が、どこの中間管理事業者へ委託をしているのかを全て把握しているわけはありませんが、議員が質問されている事業者の動向を昨年度から注視し、その事業者からも取組内容や提案書の提出等を求め、情報収集に努め研究してきました。  
早期検討の上、委託先の変更をという質問ですが、現在、来年度の事業者選定を進めているところです。

### その他の質問



防災グッズ（段ボールベッド）



防災の講演



炊き出し訓練



山名町長 三好 章五 議員

### 1 山名町長が目指す 由良町の将来像について

#### 議員

白崎海洋公園は、道の駅としての機能を十分果たしているのか。 今後も道の駅として運営を続けていくのか。 町内の他の場所に道の駅をつくることは考えていないのか。

#### 町長

国土交通省が示す道の駅に求められる機能としては、白崎海洋公園はいずれも満たしており、機能は果たしています。

周辺整備等が完成すると、多くの方に白崎海洋公園を利用していただけることが期待できるため、今後も道の駅として運営していきます。 新たな道の駅の建設は、考えていません。

#### 議員

畑から広川町井関間の国道改良工事完成後、山名町長としてのビジョンについて、

### ひきこもりの実態調査を

#### 議員

「おとなのひきこもり」の問題は、平成28年6月議会から質問していますが、現在、「ヴィダ・リブレ」が美浜町にでき、大人の居場所づくりはできています。

また、御坊市内ではNPOではないですが、居場所づくりとして活動している団体もあります。

15歳以上39歳未満を対象とした内閣府の調査（2016年）によれば、狭義のひきこもりは18万人。広義のひきこもりを含めると54万人とされています。

40歳以上64歳未満を対象とした内閣府の調査（2019年）によれば狭義のひきこもりが36万人、広義のひきこもりを入れると61万人いると考えられます。 15歳以上64歳未満では、115万人いると推計されています。



川出 純 議員

由良町をスムーズなドライブができるだけの通過の町で良いのか、滞留人口を増やして経済効果等を見込めるような計画は考えていないのか。

#### 町長

議員が言われるような計画は、現在のところ描いておりません。

### 2 鉄は熱いうちに打て

#### 議員

ゆらつと紀州周辺整備のことで先輩議員が何回か質問をされ、昨年の12月議会では、『NPO法人や周辺自治会とも協議を重ね連携を図り、より良い施設管理、運営に努めてまいりたい』と答弁されているが、協議はどのような内容で、何回されているのか。

#### 町長

現在のところ協議の場を持つことができていませんが、今後、当該NPO法人や周辺自治会との協議の場を持ちたいと考えています。

### 3 旧中央保育所跡地と紀伊由良駅前整備等について

#### 議員

この保育所跡地になぜ公園を整備する必

私は、特にひきこもりの家族の気持ち、家庭環境などを思い返し、家族自身も自分たちを責めたり、自問自答することも口に出せず、ただひきこもっていることを口に出せず、家族だけで抱え込む場合もあり、助け合いが必要であると思います。 そのため由良町内で実態調査をしていただきたい。

#### 町長

現在、由良町では、生活困窮者自立支援会議の中で、地域で気になる方の実態調査を地区の民生委員の方や由良町社会福祉協議会に御協力いただき実施しています。

要があるのか。 以前から計画はあったのか。 整備費用はどのくらい見込んでいるのか。

#### 町長

令和3年9月議会で議決いただいた過疎計画に「町民の交流・やすらぎの場として町民公園を整備する」と記載しています。

今後の公園整備に要する費用、基本設計時の試算では1億円程度となっておりますが、整備費用の全額を一般財源で賄うのではなく過疎債を活用する予定で実負担は3,000万円となります。

#### 議員

紀伊由良駅前の再整備計画について、駅前に数億円とも言われている数階建ての建物を建て、活性化を図っていかれるような計画だと聞いていますが、協議会が計画どおりの答申がされた場合、答申どおりの予算計上をされるのか。

#### 町長

協議会から基本構想案の答申をいただき、町としての構想を策定し、議員の皆さんに説明して御意見をいただき、合意形成が図られた上で、具体的な計画づくりを進めていきます。

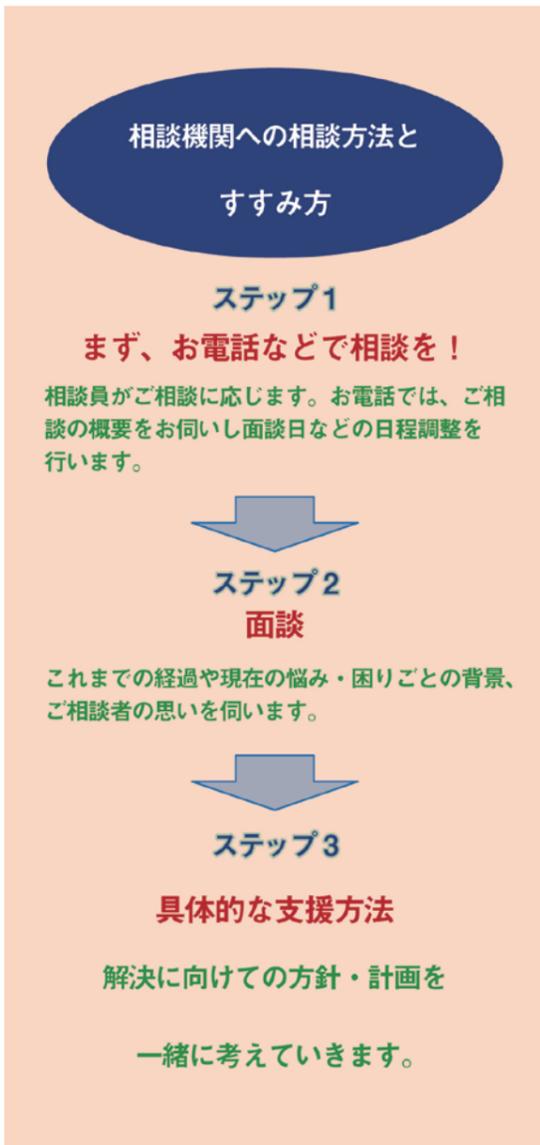
その上で財源を含めた予算計上をしてまいりたいので、答申があったからといって令和7年度当初予算への計上は考えていません。

その中には、ひきこもりの方も含まれています。

この会議には特定非営利活動法人ヴィダ・リブレをはじめ様々な機関から参加いただき、情報交換しながら支援につなげているところです。

また、市町村プラットフォームとして、就職氷河期世代支援の対象者のうち、特に社会参画に向けた支援を必要とする方に対する支援にも取り組んでいるところでもあります。 議員が言われるひきこもりの実態調査を行う予定はありません。

今後、ひきこもり相談、支援機関に関する情報発信、訪問や同行による支援の実施、居場所の提供、専門家による支援や講演会等を実施しながら広報していきます。



「ヴィダ・リブレ」が発行するパンフレット

※1 狭義…ある語が示す意味の範囲に幅があるとき、狭く限定したほうの意味。  
※2 広義…ひろい意味。ある言葉のもつ意味の範囲に広狭がある場合の、広のほうの意味。



たけし 武司 議員  
いわさき 岩崎 議員

### 闇バイトについて

#### 議員

首都圏などで8月以降、SNS上で一般的なアルバイト募集のように見せかけて、凶悪な強盗を行わせる闇バイト事件が社会問題となっています。

また、山口県光市の住宅に強盗に入ろうとして逮捕されたのは、千葉県、茨城県、14歳の中学生と16歳、18歳の高校生でした。

こうした現状から、少年を犯罪に加担させないため、学校教育での対策が大変重要であると考えます。

そこで学校では、現在どのような対策がなされているのか。

### 町長の公約実行について

#### 議員

6月議会で示された主要施策について、どこに主要性があり、すぐに実現できるのか。

また、希望ある由良町への5つの政策の柱について、取り組むべき基本的な方向について町長の答弁を求めます。

6月議会と同じような質問をしましたが、28項目の公約について補正等で、その後どのように前向きに取り組んできたのか。

#### 町長

希望ある町、由良町を目指し、「若人が集う、子育て世代にやさしい、高齢者にやさしい」の実りある3つの町づくり、5つの政策の柱として、28項目を公約として掲げていますが、それぞれが重要であると考えています。

6月議会、9月議会において補正予算の議決をいただき、「小学校の給食費無償化」や「高齢者の交通手段の助成拡大としてバス・タクシー券助成対象者の年齢引き下げ」「中央保育



ゆきお 幸夫 議員  
みかみ 三上 議員

### 教育長

昨今、小中学生のスマートフォンの所持率が高まっている中で、ネットトラブルやSNSを通じた犯罪に巻き込まれたり、加担したりする事例が報告されています。

こうした中、昨年8月、闇バイトに関して文部科学省より、少年をアルバイト感覚で犯罪に加担させないための対策について通知文書が発出されています。

本通知文書を受けて本町小中学校において、学級会等で闇バイトの実態や危険性等について指導を行うとともに、県警察署職員を講師に招いて非行防止教室を実施したり、御坊広域青少年補導センター職員を講師に、スマホの安全な使い方、の出前授業を行ったりしてきたところです。

今後、児童生徒が闇バイト等の犯罪に関わることをないよう、啓発資料の活用や警察等関係機関との連携協力、保護者へ

**ビジョン達成のための5つの政策の柱**

- 1. 若人が集う町づくり
- 2. 子育て世代にやさしい町づくり
- 3. 高齢者にやさしい町づくり
- 4. 自然環境が魅力な町づくり
- 5. 住みやすい町づくり

**希望のある町を実現するための3つのビジョン**

- 1. 若人が集う町づくり
- 2. 子育て世代にやさしい町づくり
- 3. 高齢者にやさしい町づくり

山名町長、2期目の公約

所跡地への公園整備を進めているところで、その他の項目につきましても、逐次取り組んでいるところです。

#### 議員

町長は、具体的に述べていない。何から進めて、何を最重要に実行するのか、私には、わかりません。

これでは、実りなく3つの名ばかり。これでは困ります。答弁を求めます。

の啓発等を図りながら、SNSの危険性等についての指導の充実にも努めてまいりたいと考えます。



闇バイトのイメージ

#### 町長

どれからやっていくのかということですが、手付けられるところは、もう着手しているところもありますし、もう実行していることもございます。どれをどのように答えればいいのか、ちょっと分からないところなんです。

#### 議員

由良町のアピールばかりで、観光客の受入態勢ができていない。経済的リターンをいつ目指すのか、経済的効果は見込めるのか。

#### 町長

活動は、少しでも由良町を知ってもらおうのが第一の目的だと思います。知ってもらえれば、ふるさと納税にも少しは目を向けてくれるのではないかと思います。あるバス会社へ依頼しまして、京阪神から由良町へ来てもらえるようなバスツアーを2つ計画していただきました。

#### 議員

役場庁舎前の花壇が、シートで覆われています。役場にいられた町民から呆れた声を聞いています。心の和み、癒しが感じられません。職員なくして由良町役場は成り立ちません。働きやすい職場環境づくりを。

#### 総務政策課長

花壇のツツジが枯れ、雑草が生い茂り、蜂の発生が物凄く、来客者・職員に対して怪我の恐れがあるので除草し、防草シートを張りました。

# 産建厚生常任委員会行政視察

【場所】長崎県松浦市  
長崎県東彼杵町(ひがしそのぎちょう)  
【日程】令和6年11月19日～21日

## 移住定住政策を学ぶ



アジフライの聖地（松浦市）



移住定住のパンフレット（東彼杵町）

松浦市では移住を進める上で、「市内に産業の育成を」ということで、市長が中心となって「アジフライの聖地」をキャッチコピーに、市内の飲食店 30 軒近くが「アジフライ」を提供していました。当市のアジの水揚量は例年 8 万トンあり資源は豊富で、素晴らしいところは「アジフライ」を長崎県庁、長崎県警の食堂、県内の学校給食にも提供しているところです。

もともと、市長が出張して「地元のアジフライが一番おいしい」と考えたのが始まりとのことですが、若い市長の決意に職員が付いてくれたことも頼もしい限りです。

また「お試し移住」ということで希望者には木造平屋 3LDKを貸し出し、設備もかなり充実していました。

ここにも行政の姿勢に前向きさを感じました。

東彼杵町も若年層の流出による過疎化が進み、移住・定住政策の推進となったようですが、まず「地域おこし協力隊制度のフル活用」や、「お試し移住の推進」などがあり、空き家バンクの利用者だけでなく、登録者にも登録料に交付金を出すなど積極的な活用もありました。

町づくりにも大いに積極的で、小・中学校給食費無料化、出産祝金は第5子以降には40万円支給、また、働く人には「遠距離通勤応援金」ということで、町から15km以上離れた近隣市町に勤務する40歳未満の方へ月 8,000 円を支給しており、これも魅力のあり方だと感じました。

両市町を視察して感じたのは、まずは「お試し移住」を始めることが初めの一步になると思います。ぜひ由良町でも実践すべきであると考えます。

# 総務文教常任委員会行政視察

【場所】山形県長井市・岩手県八幡平市・宮城県仙台市  
【日程】令和6年10月9日～11日

## スマートシティ由良町へ



長井市役所（左）と駅庁舎（右）



八幡平市北森駅（左）と八幡平市役所（右）



震災遺構・荒浜小学校校内

長井市は人口約 2 万 5,000 人、従来の庁舎が築 60 年を過ぎ、洪水時に浸水のリスクが指摘されていたことから、2021 年 4 月に山形鉄道の長井駅と一体化する形で移転しました。

スマートシティへの取り組みも進めており、庁舎内には、デジタル技術を活用した無人店舗型のスマートストアを設置、デジタル地域通貨（ながいコイン）を流通させ利便性の向上が図られていました。

八幡平市は、平成 17 年 1 月に、2 町 1 村が町村合併をして誕生。新しい庁舎の建設が合併時の条件になっていたこともあり、平成 26 年 11 月に庁舎が完成し、平成 27 年 3 月に北森駅も移転、庁舎と JR 北森駅が一体化しています。

震災遺構である仙台市立荒浜小学校を視察、海岸から 700m の距離にある小学校には、4 階建て校舎の 2 階部分にまで津波が押し寄せ、折れ曲がったベランダの鉄柵や水しぶきの跡など校舎に残る津波の痕跡や映像から、改めて津波の威力や脅威を思い知らされました。

また、津波で大きな被害に遭いながらも避難してきた児童や住民 320 人全員の命を守った荒浜小学校、多くの人命を救った避難計画のあり方や震災当時の教訓を通じて日頃の防災教育の重要性を勉強できた視察となりました。

私たちのまち由良町とは洪水と津波との違いはあるが、庁舎が浸水区域内にあるのは同じです。由良町としても役場庁舎が津波浸水区域にあるということをもう一度考えなければならぬと思います。

新年挨拶

議案審議

一般質問

委員会活動

新年挨拶

議案審議

一般質問

委員会活動